

PRESIDENT'S MESSAGE

RI会長メッセージ

RI指定記事

ロータリー平和フェローのように考える

平和への道は数多くあります。ロータリーには幸い、この真実を自ら示し続ける、ロータリー平和フェローがいます。ロータリーは毎年、世界中のリーダーが平和と発展を学ぶため、最大130人にフェローシップを授与しています。平和フェローは、紛争の予防と解決に取り組み、積極的平和を促進するために学び、その準備を整えます。そんな平和フェローによる、平和推進の創造的な取り組みの例をご紹介します：

持続可能性を高める

アレハンドラ・ルエダ・ザラテさんは、ロータリー平和フェローシップのプログラムで得た平和と紛争解決のための知識と、修士号を持つエネルギー・資源分野での知識とを合わせて、コロンビアの田園地方を保護するという夢をかなえるために活動しています。

ザラテさんは、2011年にNES Naturalezaという団体を設立し、コロンビアや中南米の地方農家が持続可能な農業を行っていくための知識と研修の機会を提供しています。この支援により、約4,500人の農家の人の生活が改善され、彼らに起業家になるインスピレーションが与えられました。また、中南米全域で自然と社会の持続可能性を推進する一助となりました。

人種差別をなくす

平和フェローのジョフリー・ディーゼルさんとキャシー・ドハーティーさんは、フェローシップで培った平和と発展の知識を生かし、人種平等プロジェクトを共同で始めました。これは、反人種差別の活動を通じてより平和な社会をつくる方法について研究する、北米のロータリー積極的平和アクティベーター（推進者）で構成する小委員会です。

このプロジェクトは、いわゆる「積極的平和」の枠組み

とされる八つの要素（2020年6月にグローバルシンクタンク、経済平和研究所・IEPが示した世界平和度指数）が人種差別への取り組みをどのように支えられるかを考え、北米の地域社会に広める活動を行っています。

データを活用した災害対策

ジェイミー・ルスーアさんは、ロータリー平和フェローシップを通じて平和・紛争研究における社会科学の修士号を取得しました。現在、国際赤十字・赤新月社連盟の緊急時対応を指揮し、緊急時における組織間の協力のための管理運営の枠組みを設定しています。

ルスーアさんは、複雑な災害対応に冷静さをもたらすための強力な手段は、研究データであると考えました。組織のプロトコル（規約）がどのようなものであっても、研究を意思決定の基盤とすることは、最も複雑で緊急時にあっても明確な方向性を導くことにつながります。

他にも何百とあるこうしたストーリーは、平和な世界を築くことのできる次世代のリーダーをロータリーがいかに育成しているかを証明するものです。これまでに約1,800人の平和フェローがロータリー平和センターを卒業し、学んだことを生かして140カ国以上で活躍しています。

平和フェローと彼らを支えるロータリー会員の継続した活動からインスピレーションを受け、皆さまが今後も奉仕、ファンレイジング、クリエイティブな思考を通じて「世界に希望をもたらす」ことができますように。

ゴードンR. マッキナリー

2023-24年度 国際ロータリー (RI) 会長